

## カンボジア国の職業訓練支援に向けた調査団の派遣

JESOは、公益財団法人CIESF(シーセフ)との連携により表記の事業を昨年に実施しました。その概要は以下の通りです。

### 1. 調査目的

カンボジア国の職業訓練状況を調査し、人材育成に係る課題を把握して、職業訓練の質の向上に向けた提言を行う。

日系企業等の人材確保・育成・雇用に係る実態と課題を把握して、上記目的に資する情報収集を行う。

### 2. 調査団員

小林 辰滋(JESO理事)

柿栖 昇(JESO理事)

### 3. 調査対象

①労働職業訓練省(Ministry of Labor and Vocational Training)

②職業訓練施設

NTTI(National Technical Training Institute)

NPIC (National Polytechnic Institute of Cambodia)

JVC (JVC Technical College)

③日系企業

製造企業など4社

### 4. 調査メモ

①職業教育は労働職業訓練省が所掌し、一般学校教育は文部省が所掌している。

義務教育(6年+3年)修了後、進路は高等教育コースと職業訓練コースに分かれる。

②教員(新規養成を含む)の更なる質の向上が喫緊の課題である。

教員数も不足状況にある。

③NTTIは職業教育教員養成機能を有している。入学資格は大学(4年)卒か短大(ディプロマ2年)卒である。

④NPICの学士課程は電子、電気、土木、情報、機械、自動車、観光の7学科を設置している。

準学士(ディプロマ)は冷凍空調、自動車整備、電子、電気など9学科を設置している。

その他に6か月間程度の短期課程も設置している。

⑤全国に38校の職業訓練校を配置している。

⑥訓練機材、テキストなど訓練資源の拡充が求められている。

⑦JVC は日本のボランティア組織が協力して成功した職業訓練校(自動車整備)の代表例である。

⑧日系企業は基礎教育と職業能力の向上に期待している。

将来的には製造工場で活躍できる主要人材に育て上げることを志向している。



労働職業訓練省 ポアソン長官、幹部



労働職業訓練省との意見交換



NTTI 職業教育教員養成コース(学科)



NTTI 材料試験機



NTTI CAD



NTTI 電気回路実験



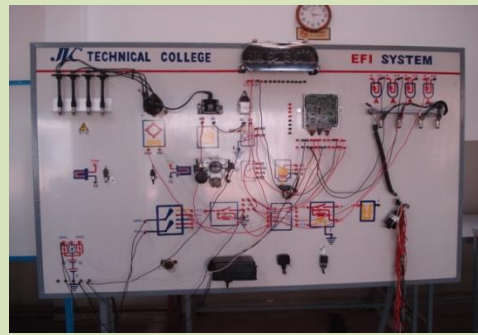
NPIC マイコン1



NPIC マイコン2



NPIC 自動車整備(電装パネル)



NPIC 自動車整備(パネル教材)



JVC 基本工作実習



JVC付設の自動車整備工場

## 5. 提言

カンボジアの職業訓練についてカンボジア労働省との面談、現地視察を通して、調査期間は短かったものの全体像を把握することができた。日本の昭和 33 年から始まる職業訓練行政と職業訓練の運営状況と比較検討する中で、カンボジア国民が自らの力で職業訓練行政・施設運営管理を推し進めるために、以下のような支援が考えられる。

- 1) 職業教育訓練を体系化、強化するためのアドバイザー派遣(省庁レベル)
- 2) 職業訓練指導者の資質向上に向けたセミナーの実施(日本的ものづくり)
- 3) カリキュラム開発の協力(日本の職業訓練カリキュラムを現地化)
- 4) 教材開発の協力(日本の職業訓練教科書を現地語化、教材開発の指導)
- 5) 日系進出企業との連携促進スキームの提案(教員を企業へインターン派遣、企業の技術者を外部講師として訓練施設へ派遣、支援協議会の設置等)
- 6) 労働者の能力評価制度の導入に向けた提案、協力(日本の能力評価制度をベースとして導入)

## 6. 謝意

今回の調査に当たり連携いただいたCIESF様、懇切なご対応をいただいたカンボジア国労働職業訓練省、職業訓練施設、日系企業の関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

## 7. 追記:

職業能力開発総合大学校 (PTU) を卒業した国費外国人留学生がカンボジア国においても活躍している様子を見聞できたことは、我々にとって大きな喜びとなりました。

また、国内のみならず、近隣諸国のPTU卒業生のネットワークがあり、お互いに情報交換や支援し合っていることも聞き及びました。一層の活躍を祈ります。

JESOも彼らのネットワークづくりを支援し、今後の事業展開の中でコラボレーションできればと考えております。



スライ・ソピン (PTU卒) さんとNTTIにて